

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立熊谷高等学校 定時制課程 )

目指す学校像	自ら考え、判断し、目標に向かい着実に努力するとともに、他者への思いやりの心を持った心豊かな生徒を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 わかる授業に徹し、基礎学力の充実を図る。</li> <li>2 生徒理解を深め、学校生活への適応指導を充実する。</li> <li>3 積極的な情報発信、外部機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>4 安全・安心な学校づくりに努める。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間の学力差が大きい、授業を通してどのような学力を身に付けさせるか目標設定が難しい。</li> <li>・学習の目標を持たず、進級・卒業のみを目的とし最低限の努力にとどめ、成長への意欲が欠ける生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の学習達成状況を把握し、適切な学習指導を行う。</li> <li>・自己の成長を実感させ、進路指導を充実させることで生徒の学習意欲を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「学びの基礎診断」を年3回実施、基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルを構築する。</li> <li>②進路面談を年2回実施するとともに、進路資料室を整備・有効活用する。</li> <li>③ICT機器の利用、ALの手法を取り入れた授業の実践。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「学びの基礎診断」における学習達成率が上がっているか。学年末の欠点保有者は減少したか。</li> <li>②卒業学年の生徒の進路達成率は100%であるか。</li> <li>③ICT機器利用やALが効果的に行われているか。</li> </ol>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階や家庭環境等の困難を抱え、日々の生活に不安やストレスを感じている生徒が多くいる。</li> <li>・基本的な生活習慣が身につかず、依然として遅刻・欠席が多い。また、学校や集団への帰属意識が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒と教員の信頼関係を築くとともに、外部機関と適切に連携を図る。</li> <li>・学校行事や部活動を通じて、学校への帰属意識を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①外部機関(SC・サポステ)との連携によって生徒を多面的に理解し、情報の共有により適切な指導を行う。</li> <li>②「総合的な探究の時間」や生徒会活動、学校行事を活性化させ、学校の魅力を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①定時制高校への支援事業を有効に活用し、生徒の中退防止につなげることができたか。</li> <li>②欠席や遅刻が減ったか。生徒の学校行事の出席率が80%以上であるか。</li> </ol>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の学校行事への参加が少なく、本校の取り組みが十分理解されていない。</li> <li>・近隣地域への本校定時制の教育内容・よさのアピールが不十分であり、入学希望者数も減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある公開行事を計画し、保護者の参加を促す。</li> <li>・本校の教育への理解と支援を増やし、「入りたい学校」として受験生に選ばれようとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校行事や公開授業への保護者の参加を呼び掛け、来校者を増やす。</li> <li>②定時制ホームページを活用し、本校の教育内容を伝えるとともに、学校説明会の参加者を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校行事への保護者参加率は40%以上であるか。</li> <li>②定時制ホームページの情報は常に最新であるか。学校説明会の開催が志願者の増加につながったか。</li> </ol>			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校中の交通事故が数件あったこと、三不運動の廃止を踏まえ、自転車や自動二輪車のさらなる安全指導が求められる。</li> <li>・施設・設備の安全維持とともに、自校給食実施校として、衛生面での安全・安心の確保を継続的に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導を充実させ、登下校中の交通事故をなくす。</li> <li>・安全、安心な学校生活を送るための設備・給食点検の精度を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自転車運転のマナー指導を継続的に行うとともに、自動二輪車・自動車使用者のルールを整備する。</li> <li>②巡回による設備点検を日常的に行い、給食点検や検食を確実に実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒が登下校において交通ルールを順守できているか。</li> <li>②HR教室や使用教室に危険な場所はないか。速やかに改善したか。給食に異物混入はないか。</li> </ol>			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			